

令和7年度（2025年度）「くまもと・みんなの川と海づくりデー」実施要領

1 趣旨

本県は、有明海、八代海等に面し、また菊池川、白川、緑川、球磨川等数多くの河川や豊富な地下水を有するなど、豊かな水環境に恵まれている。

しかしながら、周辺の自然環境等の変化に伴い、一部の水域において水質環境基準が達成されていないなどの問題が生じているほか、海洋ごみによる環境汚染や、有明海や八代海では、海域環境の悪化による魚等への影響が懸念されている。

そこで、ふるさとのきれいな川や海を健全な姿で次世代へ継承していくため、水辺の県下一斉清掃活動「くまもと・みんなの川と海づくりデー」を実施する。

2 主催

熊本県、各市町村

3 実施方法

(1) 実施主体
各市町村

(2) 期日

統一行動日 令和7年（2025年）8月24日（日）

※統一行動日では都合がつかない場合や、既に別の日に計画されている場合は、各市町村が設定した期日で実施可。

(3) 場所

①メイン会場 蔵満海岸（荒尾市）

②地域会場 各市町村で定める河川、水路、海岸、湖岸等

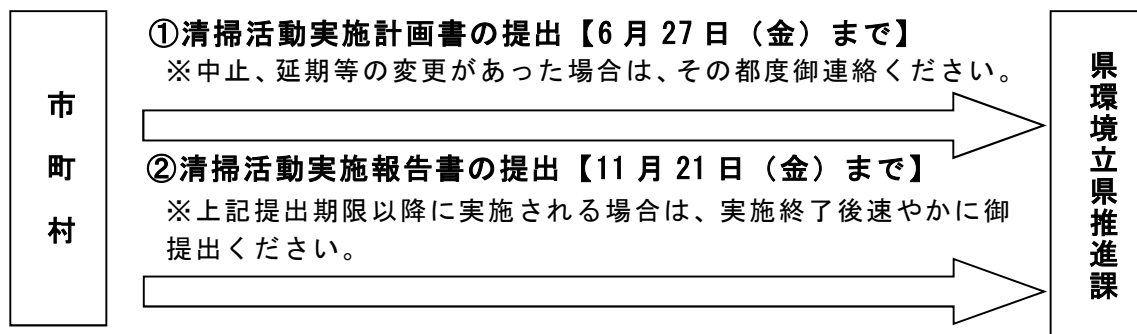
(4) 参加者

地域住民（児童生徒を含む。）、団体関係者、漁業関係者、賛同企業等

(5) 手続等

①実施に当たっては、別紙「『くまもと・みんなの川と海づくりデー』の実施上の留意点」に配慮してください。

②以下の期日までに、実施計画書（別記第1号様式）及び実施報告書（別記第2号様式）を提出してください。



「くまもと・みんなの川と海づくりデー」の実施上の留意点

1 広報・周知

多くの住民の方に自主的・主体的に参加していただくため、それぞれの市町村では、チラシ、市町村広報誌、ホームページ、防災行政無線等による広報活動に力を入れてください。

この行事は、できるだけ多くの住民に参加いただき、行事参加を契機として日常的な環境行動への意識改革につなげていくことも目的の一つとしていることから、自治会、青年団、婦人会、老人クラブ、子供会、環境団体、釣り愛好会などの各種団体や地元企業にも呼びかける等、幅広い層への広報・周知を企画してください。

2 実施日

各市町村においては、ノリ養殖前の時期や多くの住民が参加できる時期・時間を実施していただくとともに、可能であれば河川流域の関係市町村と同日に実施できるよう、日程調整等をお願いします。

また、できるだけ多くの住民に参加していただくとともに、ボランティア団体とも協力して年間を通しての活動をお願いします。

3 場所の選定

川、海、湖等公共用水域の中から地域全体で環境を保全していくという理解が得られるような場所を選んでください（具体例は下記参照）。各市町村での選定に当たっては、事前に漁協等の関係団体と役割分担や連携等を協議するとともに、実施前に下見を行い、会場付近の地理や危険箇所等の把握をお願いします。

記

- 地域を代表するような親水性の高い場所
- ゴミが多く、汚れが目立つ場所
- 子どもや高齢者の方も危険が伴わない場所 等

4 ゴミ運搬・処理

- (1) 集められたゴミの運搬は、実施主体の車両等で運搬をする、地元の建設業協会等に協力を求める等、実施主体が行ってください。
- (2) 集められたゴミの処理方法については、あらかじめ広域組合等と十分に打ち合わせを行ってください（なお、県内の広域組合等に対しては、別途県からも協力依頼を行う予定です。）。

※ゴミの野焼きは法律で禁止されていますので、行わないでください。

5 雨天や台風接近が予想される場合

- (1) 決行・中止の判断は、各市町村で行ってください。参加者の安全を考慮するため、気象予報や現地の状況を踏まえて判断をお願いします。
- (2) あらかじめ防災行政無線等を活用し、雨天中止の場合の連絡方法等についても参加者への周知に万全を期してください。
- (3) 雨天で中止した場合は、後日の実施について検討くださるようお願いいたします。

6 ケガ・事故等

- (1) 事前に休日当番医を確認するとともに、ケガや事故発生時の連絡体制・方法を定め、緊急時に速やかに対応できるようにしてください。
- (2) 清掃会場にも救急箱や救護スタッフを配置し、ケガや事故に備えてください。
- (3) 当日の開会式等を利用し、参加者に危険防止を周知してください。
- (4) 清掃活動中のケガ等については、実施主体において保険への加入等をお願いします。
- (5) 特に参加者の中で子どもや高齢者等は危険な箇所での清掃活動を避ける等、十分配慮してください。
- (6) 熱中症等を予防するため、帽子着用及び水分や塩分等の補給を呼びかけてください。

(別記第1号様式)

くまもと・みんなの川と海づくりデー 清掃活動実施計画書

市町村名 ()

1 連絡先	所属 () 課 () 係 担当者 職名 () 氏名 () TEL (内線) FAX メールアドレス
2 実施日時 ※ 雨天時の計画	令和 年 月 日 () 時 分～ 時 分 雨天時 (順延する ・ 順延しない) ※順延の予定日 令和 年 月 日 () 実施計画がない場合 【理由】
3 協力団体・機関	
4 美化清掃会場 (具体的に記入、複数会場の場合は複数)	
5 予定参加者数 (内訳は団体毎に記入)	総数 約 人 (内訳)

※メールによる回答をお願いします。

回答期限：6月27日(金)

〈お問合せ先〉
熊本県環境生活部環境局
環境立県推進課 環境計画推進班 村上
TEL 096-333-2266
FAX 096-383-0314
E-mail: murakami-k-do@pref.kumamoto.lg.jp

(別記第2号様式)

くまもと・みんなの川と海づくりデー 清掃活動実施報告書

市町村名	
担当課名	
担当者名	
連絡先	

【実施状況の確認】

清掃活動実施について、次の(1)～(3)であてはまるものに○印をつけてください。

	○印記入欄
(1) 清掃活動を計画し、実施した。	
(2) 清掃活動を計画したが、天候不良等で中止した。	
(3) 清掃活動を計画していない。	

※(1)に該当する場合のみ、以下の項目について御回答ください。

1 清掃活動の実施日時

令和 年 月 日 () : ~ :

2 実施場所

3 参加者について

①総数	②成人	③中・高校生	④小学生以下	⑤不明
名	名	名	名	名

4 主催者について

※区分毎に主催回数を記入してください。

区分		主催回数(回)
ア	行政(国、都道府県、市町村、外郭団体、出先機関等)	
イ	学校関係(小・中・高校、PTA等)	
ウ	水産運輸関係(漁協(婦人部・青壮年部含む)、漁連、漁港・港湾関係)	
エ	地域関係(自治会、町内会、老人会、子供会、商工会、商店会、観光組合、海水浴場組合等)	
オ	青少年団体(ボーイスカウト、スポーツ少年団等)	
カ	企業関係(電力会社、製造業、金融、サービス業等)	
キ	マリンレジャー関係(釣り、ヨット、サーフィン、ダイビングの団体等)	
ク	その他(上記以外の各団体)	

5 回収したごみについて

※回収したごみの量について、以下に記入してください。

(記入にあたってのご注意)

記入欄は3種類あります。ごみ量の把握状況に応じて記入してください。

- ・ごみ組成の詳細を把握している場合は、その量を「回答表1」に記入してください。
- ・人工物と自然物の別のみ把握している場合は、「回答表2」に記入してください。
- ・総量しか把握していない場合は「回答表3」に記入してください。

回答表1～3のごみ量に重複が無いように記入してください。

回答表1 ごみ組成の詳細を把握している場合

人工物	可燃物	布・紙 m ³	材木、木片等 m ³	その他 m ³		計 m ³
	プラスチック類	ペットボトル m ³	弁当箱、トレイ m ³	ロープ、網 m ³	その他 m ³	計 m ³
	不燃物	缶類 m ³	ガラス m ³	その他 m ³		計 m ³
自然物		流木・草等 m ³	海草類 m ³	その他 m ³		計 m ³

回答表2 人工物と自然物の別のみ把握(内訳は不明)している場合

人工物ごみ量 (内訳は不明)	計 m ³
自然物ごみ量 (内訳は不明)	計 m ³

回答表3 総量しか把握していない場合

総計 m ³

6 活動を実施する上で工夫したことや問題点、課題等を自由に記入してください。

※参加者確保や資機材確保の取組みや収集したごみの収集方法で工夫した事例、他の市町村に聞きたいことなどを記入してください。

参考となるような取組みについては各市町村に紹介させていただきます。

海浜等清掃活動・写真集

写真 N o .

清掃前
(ごみが散乱集積している状況)

写真 N o .

清掃中
(清掃作業の状況等)

写真 N o .

清掃後
(清掃が終わった直後の状況)

写真 N o .

回収されたごみ
(ごみの種類が判別出できような写真)

清掃活動実施報告書の記入について

本調査票の作成にあたっては、次にしたがって作成願います。

- 1) 広域にわたって一斉に清掃した場合は、地区別又は団体別に作成してください。
- 2) 清掃活動が数日にわたる場合は、連続する清掃活動を1回として記入してください。
- 3) 把握している範囲について記入してください。
- 4) 体積(m³)換算は、次のとおりとしてください。

ごみ問題の検討のためには体積(m³)での数値が判断しやすく、また、清掃実施者が簡便に定量的に記入できることから、本調査では体積で集計することとしています。体積(m³)を換算するための目安を次表に示しておりますので、体積表示で御記入ください。なお、この表は、水域環境改善全国協議会事業の調査で使用してきたものです。

体積(m³)換算の目安

項目	数量	体積の 目安	備考
ごみ袋大(65cm×80cm : 45 リットル)	1 袋	約 0.045m ³	
ごみ袋大(65cm×80cm : 45 リットル)	約 20 袋	約 1 m ³	0.045m ³ /1 袋×20 袋=0.9m ³
ごみ袋特大(80cm×90cm : 70 リットル)	1 袋	約 0.07 m ³	
ごみ袋特大(80cm×90cm : 70 リットル)	約 14 袋	約 1 m ³	0.07m ³ /1 袋×14 袋=0.98m ³
ドラム缶：鋼製ドラム 1 種(200ℓ) (直径約 57cm×高さ約 85cm)	1 缶	約 0.2 m ³	
ドラム缶：鋼製ドラム 1 種(200ℓ) (直径約 57cm×高さ約 85cm)	5 缶	約 1 m ³	0.2m ³ /1 袋×5 缶=1.0m ³
2 t ロングボディートラック	1 台	約 10 m ³	
2 t トラック	1 台	約 5 m ³	